

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公表番号】特表2009-502203(P2009-502203A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-525183(P2008-525183)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)
A 01 K	67/027	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	A
A 61 K	39/395	B
A 61 K	39/395	J
A 61 K	39/395	X
C 07 K	14/47	Z N A
C 12 N	1/15	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 N	5/00	A
A 01 K	67/027	

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

B - 細胞特異的プロモーター / エンハンサーによって駆動される、ヒト b c 1 - 2 、マウス b c 1 - 2 、およびウサギ b c 1 - 2 からなる群より選択される哺乳類のアポトーシス抑制因子 b c 1 - 2 のトランスジーンを含む、少なくとも一つのトランスジーン構築物を含む、短期リンパ球生産を経験する、ウサギ、鳥類、ニワトリ、ヒツジ、ヤギ、ウシ、ブタ、ウマ、およびロバからなる群より選択される、非ヒト・トランスジェニック動物。

【請求項2】

少なくとも一つの外因性免疫グロブリンを含む、少なくとも一つのトランスジーン構築物を含むことを特徴とする、請求項1に記載の非ヒト・トランスジェニック動物。

【請求項3】

前記外因性免疫グロブリンが、ヒト(化)免疫グロブリン重鎖および/または軽鎖配列である、請求項2に記載の非ヒト・トランスジェニック動物。

【請求項4】

前記トランスジーン構築物が、下記の順序：

- a) 免疫グロブリン；
- b) 自己切断ペプチド；

c) ヒト b c 1 - 2 、マウス b c 1 - 2 、およびウサギ b c 1 - 2 からなる群より選択される哺乳類のアポトーシス抑制因子 b c 1 - 2 ；および、任意に
d) a) と b) の間に、アスパラギン酸プロテアーゼ、システインプロテアーゼ、メタロプロテアーゼ、セリンプロテアーゼ、およびトレオニンプロテアーゼの部位からなる群より選択されるプロテアーゼ切断部位、

でポリペプチド配列を含む融合タンパク質をコードすることを特徴とし、それによって前記融合タンパクが発現される、請求項 2 記載の非ヒト・トランスジェニック動物。

【請求項 5】

下記の順序：

- a) 免疫グロブリン；
- b) 自己切断ペプチド；

c) ヒト b c 1 - 2 、マウス b c 1 - 2 、およびウサギ b c 1 - 2 からなる群より選択される哺乳類のアポトーシス抑制因子 b c 1 - 2 ；および、任意に
d) a) と b) の間に、アスパラギン酸プロテアーゼ、システインプロテアーゼ、メタロプロテアーゼ、セリンプロテアーゼ、およびトレオニンプロテアーゼの部位からなる群より選択されるプロテアーゼ切断部位、

でポリペプチド配列を含む融合タンパクをコードするトランスジーンを含む、トランスジェニック発現構築物。

【請求項 6】

前記免疫グロブリンが、ヒト（化）免疫グロブリン重鎖および／または軽鎖である、請求項 5 に記載のトランスジェニック発現構築物。

【請求項 7】

請求項 5 に記載のトランスジェニック発現構築物によって形質転換された、単離された宿主細胞。

【請求項 8】

ウサギ、鳥類、ニワトリ、ヒツジ、ヤギ、ウシ、ブタ、ウマ、およびロバからなる群より選択される、非ヒト・トランスジェニック動物の外因性 B - 細胞内で、外因性免疫グロブリンの発現を選択的に強化するための方法であって、下記の順序：

- a) 外因性免疫グロブリン；

- b) 自己切断ペプチド；

c) ヒト b c 1 - 2 、マウス b c 1 - 2 、およびウサギ b c 1 - 2 からなる群より選択される哺乳類のアポトーシス抑制因子 b c 1 - 2 ；および、任意に
d) a) と b) の間に、アスパラギン酸プロテアーゼ、システインプロテアーゼ、メタロプロテアーゼ、セリンプロテアーゼ、およびトレオニンプロテアーゼの部位からなる群より選択されるプロテアーゼ切断部位、

でポリペプチド配列を含む融合タンパクをコードするトランスジーン構築物を、該動物中に導入する工程を含み、

それによって、該外因性 B 細胞の生存率、および外因性免疫グロブリンの生産を強化する、方法。

【請求項 9】

前記外因性免疫グロブリンが、ヒト（化）免疫グロブリン重鎖および／または軽鎖である、請求項 8 に記載の方法。